あわら市・積丹町 姉妹都市刃物まつりに参加！

10月15日・16日に開催された第30回刃物まつりに、姉妹都市福井県あわら市訪問団（8人）と姉妹都市北海道・積丹町訪問団（11人）が、参加しました。

あわら市の参加は、今年で3回目となり、出店した**あわら湯けむり市**では、会場で打ったばかりの越前おろしそばや、**平核無柿**（ひらたねなしがき）※などが販売されました。

積丹町の参加は、今年で14回目となり、**積丹町の北海物産市場**では、鮭のチャンチャン焼きや、リンゴジュースなどの販売が行われ、多くのお客さんで、にぎわいました。※種なしのさらし柿

積丹町のかぼちゃだよ 干物もあるよ～

積丹町の皆さん

手前＝あわら湯けむり市
奥　＝積丹町北海物産市場

10月14日、香美市役所で、積丹町と香美市の災害時相互応援協定が結ばれました。（右＝奥山積丹町副町長・左＝香美市長）

あわら観月の夕べ

9月10日にあわら市で開催された**第11回あわら北潟湖畔観月の夕べ**へ、香美市姉妹都市友好都市交流推進協議会が主体となって4人の訪問団が参加しました。

香美市の参加は3回目で、香美市ブースでは、ユズやしょうがの関連商品が販売されました。

吉井勇記念館だより

与謝野寛・晶子&平野萬里特別展 ー講演会ー

吉井勇記念館では、現在、『与謝野寛・晶子&平野萬里～師弟の絆～特別展』（10月5日～12月5日）を開催中です。開催期間中、彼らの絆をテーマに講演会を開催します。

※火曜日休館

【日時】11月13日（日）13時～

【場所】猪野々集会所（吉井勇記念館となり）

※入場無料

【講師】平野千里さん（平野萬里ご子息、元高知大学名誉教授）

【送迎バス】香美市役所西庁舎前から、香美市役所香北支所経由で、無料送迎バスを運行します。※要予約

行き　西庁舎前（12時発）→香北支所前（12時20分）→記念館

帰り　記念館前（15時20分発）→香北支所前→西庁舎前（16時）

【問い合わせ先】吉井勇記念館☎58・2220

与謝野晶子　与謝野寛　吉井 勇　平野萬里

吉井勇作品紹介 ～秋～

洛陽の
一酒徒われも杯をあけてことほぐ
菊のまつりを

洛陽（らくよう）…京都の異称。古くは平安京の左京の異称で、右京を長安というのに対する形で呼ばれた。

酒徒…酒を飲む仲間。また、酒好きの人。

ことほぐ…祝福する。よろこびを言う。

図書館だより

市立図書館

第65回読書週間

【期間】10月27日（木）～11月9日（水）

【標語】**信じよう、本の力**

図書館では、読書週間に合わせて例年のように『おはなし会』を計画しました。たくさんの参加をお待ちしています。

☆読み聞かせ勉強会（本館）

【日時】11月26日（土）10時～12時

【場所】図書館本館　2階

【内容】おはなし会の本の選定、読み聞かせの仕方等

【講師】秋本美津さん、野本秀子さん

【問い合わせ先】本館☎53・0301

☆文化展おはなし会（物部分館）

【日時】11月12日（土）
1部　10時30分～
2部　13時30分～

【場所】奥物部ふれあいプラザ

【内容】読み聞かせ

【対象】幼児・小学生・保護者

【問い合わせ先】物部分館☎58・2058

☆図書館へ行こう！ ミニ・スタンプラリー（香北分館）

【日時】11月19日（土）9時30分～11時30分

【場所】香北分館

【内容】香北文化展と図書館を繋ぐスタンプラリー

※記念品あり

【問い合わせ先】香北分館☎59・4550

☆ミニ展示

本館＝秋いっぱい！感想画指定図書

香北分館＝図書館に関する資料

物部分館＝ベストランキング（児童）

※詳しい内容や募集要項は、後日学校等を通してチラシを配布します。

おすすめの1冊

おしんの遺言
（作：橋田壽賀子）

1983年に放送されたNHK連続テレビ小説「おしん」。困難にめげず、健気に生きる姿に、辛抱し、耐え忍ぶことの美学を教わりました。しかし、著者がドラマで本当に伝えたかったことは、「いまの豊かさで十分」「足るを知る」ということだったそうです。私達は少なくとも食べるのには困らないほど豊かであるのに、望みが高く、欲望が強く、手に入れた物を手放すまいとみんな必死になっています。何が一番大切なのか、私たちもそろそろ本気で考えてみるべきではないでしょうか。　ピン子（物部町）

第5回香美地区短詩型文学振興大会

（10月1日・のいちふれあいセンター）

香美地区文化協会長賞

※ご紹介している受賞作品は市内の方の作品のみです。

【短歌の部】（選者　楠瀬兵五郎氏）

特選　せはしなく往き交ふ人ら我もまた影のひとりとなりて踏み出づ　佐竹　玲子

優秀　ベランダに缶チューハイと枝豆と椅子に凭れて花火待つ夫　前田みちこ

優秀　娘等近く住まふひとりの安穏も世話かける日の遠からずくる　岡村　敏子

佳作　猪は水塗り転び遊びしかコメ、いも、まめの後の草薮　大岸由起子

佳作　遺影抱き娘の名呼ばるる入学式黒衣の母は「はい」と応へる　古川　安子

佳作　木に残る空蝉あつめ庭に埋く手にさす日ざしわずかに優し　長谷　千鶴

【俳句の部】（選者　前田欣一氏）

特選　風涼し九十餘才を句座にあり　奥宮　慧実

佳作　生身魂老婆四人のオムライス　吉田　芳

佳作　秋うらら名も佳し長寿飴を買ふ　間崎　和代

佳作　砂浜の焼玉機関終戦日　明石　韮生

佳作　葉牡丹を二人ぐらしの中に置く　森田　菊恵

佳作　一粒を噛み刈り頃の田を望む　黒岩千英子

【川柳の部】（選者　常石麗子氏）

優秀　世に疎き父に門火は高く焚く　樫谷　雅道